

絆

～みよし市・士別市友好都市～



北海道士別市と友好都市提携を締結してから、今年で20年。平成5年、士別市訪問から始まったさまざまな交流によって、両市の友好関係が築き上げられてきました。

今回の特集では、両市の友好の歴史や交流事業について紹介します。

秘書課 ☎32-8032 FAX34-6008

締結20周年～



愛知県みよし市と本市における友好都市提携が、今年で20周年の節目を迎えました。提携以降、子ども達の交流や市民団体を中心に、議会や行政など約5,000人という多くの人が相互に往来し絆を深めてきました。今日まで多くの交流が続いたことは大変喜ばしく、推進にご尽力いただきましたみよし市関係者の皆さまに深く謝意を表します。

みよし市にはトヨタ自動車の工場があり、士別市においても世界有数の同社テストコースがあります。こうしたトヨタ自動車の関連産業が立地しているつながりから、両市の交流がスタートしました。

私も何度か訪問させていただいていますが、みよし市には「三好池まつり」や「三好いいじゃんまつり」、「三好大提灯まつり」など、地域の特色を活かしたイベントが多くあるほか、ナシやブドウ、柿など果樹の特産地としても国内有数の地域であり、四季の魅力を楽しむことができる都市です。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、本年はスポーツや小学生交流、両市の産業フェスタなど、多くの

事業が中止を余儀なくされており、大変残念に感じています。アフターコロナにおいてはこれまで以上に、民間主体での交流も活発化することを期待しています。互いに交流し、訪問するなかで、両市の違いを肌で感じていただきたいと思います。

現在、士別市では、まちの中心部に(仮称)まちなか交流プラザを建設中です。この施設は、市民の交流拠点となるほか「道の駅」としての機能も備えており、来春オープンした際には、みよし市の特産品なども展示、販売したいと考えています。

結びに、両市の友好の絆がさらに強固なものとなり、今後も市民の交流の輪が広がり続けることを心から祈念申し上げます。

士別市

まきの ゆうじ
牧野勇司 市長



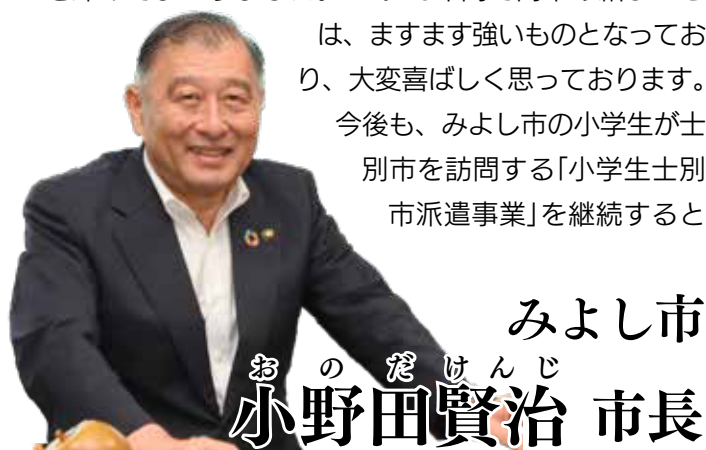
市長の想い

今年は、両市の友好都市提携締結から20周年目の記念すべき節目となります。これまで友好交流の推進にご尽力いただきました多くの関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

両市は自動車関連産業が立地しているという共通点を持っており、これを縁として、お互いの交流が始まりました。以来、さまざまな分野での交流を通じ、友好親善を深めてまいりました。この20年間で両市の結びつき

は、ますます強いものとなっております、大変喜ばしく思っております。

今後も、みよし市の小学生が士別市を訪問する「小学生士別市派遣事業」を継続すると



みよし市

おの だ けんじ
小野田賢治 市長

ともに、小学生の野球、サッカー、バスケットボールのスポーツ交流活動をさらに深めてまいりたいと思います。また商工会をはじめとする各種団体の民間主体の交流活動も、より一層活発に行われることを願っております。

私は士別市を訪問するたびに、「人の温かさ」や「自然の美しさ」を実感いたします。距離は離れていますが、本当に身近な「友」として、士別市との強い結びつきを感じております。これまで多くの市民の皆さまが深めてこられた親交は、かけがえのない財産となって、私たちの心の中に深く刻まれ、後世に受け継がれていくものと思います。

残念ながら今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で多くの交流事業が中止になってしまいましたが、一刻も早く明るい日常生活を取り戻し、交流が再開できるようになることを願っております。今後も両市の友好の絆が、さらに強いものとなり、末永く続きますことを心より祈念いたします。



士別市ってこんなまち



士別市 PR キャラクターの「さほっちファミリー」。▲
左から、メイちゃん、ミーちゃん、さほっち

北海道北部の中央に位置し、国内4番目の長さの「天塩川」の源流域を有する水と緑豊かな田園都市です。スポーツや文化活動などの合宿の聖地であることでも知られています。

人口／およそ1万8千人

面積／1,119.22平方キロメートル

気候／冬は2メートルを超える積雪もあり、最低気温はマイナス20℃以下になることも



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩

①クロスカントリー大会、②士別ハーフマラソン大会、③道立自然公園「天塩岳」、④じゃがいもの収穫風景、⑤岩尾内湖、⑥士別サフォークラム、⑦天塩川、⑧つくも水郷公園、⑨北海道で最大の6.8haの田、⑩日本甜菜製糖株式会社士別製糖所

交流のあゆみ

初めての士別市訪問、友好都市提携調印式、
さらに深まるさまざまな交流、そして、これから ——



×



三好町から行政視察研修
のため士別市を訪問

士別九十九野球少年団が
来町、親善試合で交流

「サフォークランド士別少年サッカー
大会」に三好町選抜チームが初参加。
少年サッカー交流団の派遣開始



士別市少年サッカー団が
来町、親善試合で交流

士別市少年野球団が来町
親善試合で交流。少年野
交流団の派遣開始

士別市へ三好町訪問団
第2次派遣、「ラブ士別
フェスタ」への参加開始

H5.
2月

H8.
11月

H11.
1月

H11.
7月

H11.
8月

H12.
10月

H13.
7月

H14.
1月

H14.
3月

H14.
4月

H14.
7月

士別市へ三好町訪
問団第1次派遣

小学生士別市派遣開始。小
学生28人が士別市を訪問

老人クラブ連合会が士
別市を訪問、交流開始

バレ
訪問



「士別市開基百周年記念
式典」に三好町長が出席



士別市において「三好町・士別市
友好都市提携調印式」を挙行

士別市ソフト
来町、親善試



「産業フェスタみよし」へ
の士別市の参加開始



士別市産業フェアへの参加
開始。三好の特産品を販売

友好提携10周年記念
セレモニーを両市で開催

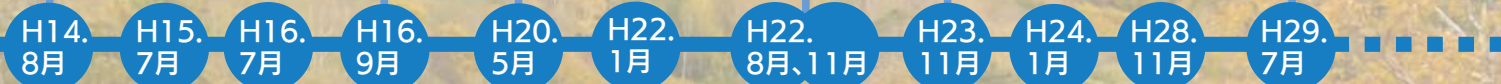


みよし市文化協会
が士別市を訪問

バトミントン連盟が士別市
を訪問、親善試合で交流。
交流開始

「三好町町制施行
50周年記念式典」
に士別市長が出席

「災害時相互応援協定」を締結



「士別市市制施行50周年記
念式典」に三好町長が出席

バスケットボール連盟が士別
市を訪問、親善試合で交流

サッカーボール連盟が士別市を
訪問、親善試合で交流

サッカーボール連盟が
士別市を訪問、親善試合で交流



士別市小学生派遣団がみよ
し市を訪問、受入開始



「みよし市市制施行記念式
典」に士別市長が出席



士別市との交流事業



小学生スポーツ交流事業

少年サッカー(平成11年～)・少年野球(平成14年～)の交流団を派遣。士別市交流団の受け入れも行っています。今後、小学生女子を対象にバスケットボールによる交流事業を実施予定。



小学生士別市派遣事業

平成13年から市内小学5・6年生を派遣。士別市の児童と交流したり、文化や自然環境を学んだりします。平成24年からは士別市小学生派遣団の受け入れが始まりました。



友好都市ふるさと交流事業

市内を活動拠点とする市民団体により、士別市の団体などと自主的な友好交流活動が行われ、市民同士の交流を推進。観光協会では、交流活動経費の一部を補助しています。



士別市産業フェア・産業フェスタみよしへの参加

両市それぞれの特産品を販売。毎回行列ができるほど好評を博しています。特にナシが栽培されていない士別市では、みよしのナシは大人気。

友好都市提携20周年記念北海道士別市特産品抽選会

秘書課 ☎32-8032 FAX 34-6008

✉hisho@city.aichi-miyoshi.lg.jp

野菜詰め合わせ
(カボチャ2玉、タマネギ4kg、+ ぼし(5kg)〕
ジャガイモ3kg)

米「氷点の舞なつ

※いずれもJA北ひびき管内産

のセットを20名様にプレゼント

応募対象 みよし市在住

応募方法 ①士別市特産品抽選を希望する旨、②郵便番号、③住所、④氏名、⑤電話番号を必ず記入し、はがき(〒470-0295 みよし市役所秘書課宛、住所不要)、ファクス、メールのいずれかで秘書課へお送りください。

※1人1回限り。同一名での複数応募は、応募を無効とします。

応募締切 10月30日(金)必着

その他 ●賞品は士別市から11月中旬に発送を予定しています。

●抽選結果は、賞品発送日の目安のお知らせをもって代えさせていただきます。

●応募いただいた個人情報、本事業以外には利用しません。

●当選の権利を第三者に譲ることはできません(転売不可)。





交流事業で得たもの

写真：みよし市小学生士別市派遣団報告書より



平成27年度 小学生士別市派遣事業

ふじもと りく
藤本 陸生さん (三吉小学校出身)

北海道のことや、みよし市の柿・ナシ・ブドウに対し、士別市ではどんな特産物があるのかを知りたくて、派遣団に応募しました。「じゃがいもの種類」を派遣の研究テーマとしていたので、ジャガイモ農家に話を聞いたり、おいしいと聞いて食べてみたかったジンギスカンを食べたりして色々な経験ができました。人とのコミュニケーションをとることが苦手でしたが、3泊4日の中でたくさんの人に勇気を出して声を掛けることができました。今の高校生活にその時の経験や自信が生かされています。

平成20年度 小学生士別市派遣事業

ふかだ ひろと
深田 大登さん (北部小学校出身)

最も印象に残っているのは、朝日三望台ジャンツェ(スキージャンプ台)の見学。とても高く、迫力満点でした。そして北海道といえばソフトクリーム。すごくおいしかったのを今でも覚えています。天塩川での川遊びや羊との触れ合いもあり、毎日充実していました。士別市の友達はみんなフレンドリーですぐに仲良くなりました。別れの時は寂しかったですね。人との交流、自然を体感、味覚を堪能、どれも素晴らしい思い出です。これから機会がある小学生の皆さんには、ぜひこの事業に参加してほしいです。



～未来へつなぐ

これまでにたくさんの人たちによって培われてきた友好の歴史、そして絆。今後もさらなる友好によって両市相互に理解と信頼を深め、次の世代へ、未来へつないでいきましょう。30年、50年、100年と…